



唐津もんだより

★バックナンバー★

※平成20年4月より行政支所の電話番号が変更になっておりますので、バックナンバーの問い合わせ先にはご注意ください。

・第83号	・第82号	・第81号	・第80号	・第79号	・第78号	・第77号
・第76号	・第75号	・第74号	・第73号	・第72号	・第71号	・第70号
・第69号	・第68号	・第67号	・第66号	・第65号	・第64号	・第63号

平成25年10月7日

■第84号■

発行：一般社団法人唐津観光協会



唐津神社の秋祭り「唐津くんち」 提灯の灯りに照らされた曳山の幻想的な姿を見物することができる「宵ヤマ」の風景

佐賀県唐津観光協会が発行するニュースレター「唐津もんだより」第84号です。
唐津のイベント・観光情報をお届けします。

【INDEX】

特集：唐津くんち

- 勇壮華麗な14台の曳山が市内を巡行する、唐津神社の秋祭り「唐津くんち」
- 唐津くんちにお越しいただく皆様へ
- 環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選定されている「唐津くんちの曳山囃子」～「囃子練習」と「初くんち」～
- 唐津くんち成功と安全を願う「本殿祭」
- 唐津くんちの曳山14台の豪華さや迫力が表現されている「平成26年版唐津曳山カレンダー」

見所・イベント予告

- “風の画家”中島潔氏の絵画で飾った「中島潔ふるさと列車(ラッピングトレイン)」運行
- あれれ？宙に浮いた城？ ～ 唐津城は、ただ今、石垣修復中です！～
- 秋空の下「玉島川鮎まつり」盛大に開催
- 中島山笠 平成25年度 第16回テーマ「八重の桜」を曳きます
- 全国的にも稀有な羽熊行列とライトアップが幻想的な山笠「相知くんち」
- 唐津市無形民俗文化財 羽熊^{はぐま}(ふるさとの文化財巡り(12))
- 玄界灘の新鮮な海の幸を堪能「唐津お魚まつり」

■相知町の“実りの秋”を楽しむ「ちょっと遊びに来んね。米んね祭」

■美術館に行こう！ーディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方ー

■ATAだより

・～ 秋の唐津んツアー ～

天神からちょっと足をのばして「唐津」ん秋をたのしんでみませんか。

■唐ワくん日誌(49)

～ 夏から秋へ涼しい季節は大歓迎の唐ワくん ～

・10月の唐ワくんおすすめ情報

～ ご当地キャラの聖地は彦根 ～

唐津よもやま話

■唐津検定情報

・祭りの源流を体感するバスハイク開催

・唐津検定、いよいよ10月27日(日)実施！！

特集：唐津くんち

■勇壮華麗な14台の曳山が市内を巡行する、唐津神社の秋祭り「唐津くんち」

唐津くんちは、毎年11月2～4日に開催される唐津神社の秋祭りで、刀町の一番ヤマ「赤獅子」から十四番ヤマ「七宝丸」まで、いずれも勇壮華麗な14台の曳山が市内を巡行します。高さ7メートル余り、重さ約2～3トン、朱や緑などの漆で美しく化粧され金箔で仕上げられた極彩色豊かな曳山を、揃いの法被姿に身を固めた若者たち数百人が威勢よく市内を曳き回すさまは圧巻、まさに現代の絵巻物です。

「唐津曳山(からつひきやま)」は、昭和33年1月23日に佐賀県重要有形民俗文化財に、「唐津くんちの曳山行事(からつくんちのひきやまぎょうじ)」は、昭和55年1月28日に国の重要無形民俗文化財に指定されています。

●2日「宵ヤマ」



提灯の灯りに照らされた14台の曳山の幻想的な姿を見物することができます。秋の夜風とともに流れる囃子の音も美しく、唐津くんちの曳山行列の幕開けです。

●3日「御旅所神幸」

14台の曳山が神輿に従い、御旅所への巡行がはじまります。唐津くんち最大の見せ場と言われる御旅所での「曳き込み」では、轍も深く砂地に入り込む曳山を、曳子と曳山とが一体となって曳き込み、西の浜明神台前に整列させます。





●4日「町廻り」

神輿は出ず、町人の祭となります。曳山の曳き納めとあって、曳子は最大の力をふり絞りながら曳き、見物客は力いっぱい声援をとばします。そして、1台、また1台と曳山展示場に格納されていきます。



【開催日】 平成25年11月2日(土)～4日(月・振休)

【時間】 2日(土) 宵ヤマ 19:30～22:00
3日(日・祝) 御旅所御神幸 9:30～16:30
4日(月・振休) 町廻り 10:00～17:30

【場所】 唐津神社(唐津市南城内3-13)周辺

【アクセス】 鉄道: JR博多駅～JR唐津駅 最速約65分
(福岡市営地下鉄～JR筑肥線)
自動車: 福岡IC～唐津市街地 約60分
(福岡都市高速道路等利用)

【お問合せ】 一般社団法人唐津観光協会 TEL:0955-74-3355



■ 唐津くんちにお越しいただく皆様へ

毎年50万人を超える人出で賑わう「唐津くんち」。曳山が巡行する市街地は、交通規制もかなり大変混雑します。公共の交通機関、臨時駐車場やシャトルバス、臨時案内所を利用し、スムーズに唐津くんちをお楽しみください。

鉄道をご利用の場合、JR唐津駅で降車してください。唐津神社まで徒歩で15分程度です。唐津くんち期間中は唐津バスセンターが閉鎖されます。昭和バス唐津営業所前(唐津郵便局北側)に臨時バス停が設けられますのでご注意ください。こちらからも唐津神社まで徒歩で15分程度です。

自家用車をご利用の場合、「唐津ロイヤルホテル横」「唐津ロイヤルホテル前河川敷」「松浦河畔公園駐車場」が臨時駐車場としてご利用いただけます。「唐津ロイヤルホテル横」と「松浦河畔公園駐車場」からは、唐津駅南口までのシャトルバスも運行されます。

臨時案内所が「唐津神社参道入口付近」「東城内駐車場」「唐津ロイヤルホテル横臨時駐車場」「御旅所」の以上4カ所に設けられます。また、JR唐津駅構内にも「唐津駅観光案内所」が常設されていますので、ご不明な点等おたずねいただけます。

●[曳山巡行コース・駐車場・他ご案内\(2013年版\)](#)

●[昭和バス唐津営業所前臨時バス停のご案内\(PDF\)](#)

《案内所開設時間》

唐津駅観光案内所(常設)TEL:0955-72-4963

2日 9:00～22:00

3日 9:00～20:00
4日 9:00～18:00
唐津神社参道入口付近(臨時)
2日 18:30～22:30
3日 8:30～18:00
4日 9:00～19:00
御旅所(臨時)
3日 10:00～16:00
東城内駐車場(臨時)
3日 9:00～17:00
4日 9:00～17:00
唐津ロイヤルホテル横臨時駐車場(臨時)
3日 9:00～17:00
4日 9:00～17:00



■ 環境省の「残したい日本の音風景100選」にも選定されている
「唐津くんちの曳山囃子」 ～「囃子練習」と「初くんち」～



唐津の秋の風物詩でもある「囃子練習」



10月9日 唐津神社本殿にて囃子を奉納する
「初くんち」

唐津くんちの曳山囃子は、大太鼓、しめ太鼓、鉦(かね)、笛の4種の楽器で奏でられます。曳山の動く速度や場面に合わせて太鼓がリードしながら囃子のテンポや抑揚を変えていき、時には激しく豪快に、時にはゆっくり優雅に、曳山の色々な表情を演出します。旋律はどの曳山もほぼ同じですが、囃子だけでこの町の曳山が判る人もいます。太鼓のたたき方や曳山の構造が原因と考えられる音の響き方など、それぞれに特徴があります。

10月からはじまる「囃子練習」は唐津っ子にとって唐津くんちを成功させるための大事な行事の1つで、曳山を待つ各町内の小中高生が先輩からの指導の下で行なわれます。この唐津の秋の風物詩でもある「囃子練習」は、ひと足先に祭り気分を盛り上げます。

また10月9日には、曳山を持つ14の町が1町づつ囃子を奉納していく「初くんち」が唐津神社本殿で行なわれます。境内では町単位で宴が設けられ、他町の囃子を聴きながら奉納の順番を待ち、秋の夜風を身に受けながら酌み交わす杯が、唐津っ子の“くんち気分”をさらに高めていきます。本番さながらの囃子を一挙に聴くことができる絶好のチャンスですので、ぜひ足を運ばれてみてはいかがでしょうか。

《囃子練習》

【日時】 10月1日から10月31日位 19:00～21:00位 各町内により異なります

【場所】 各町内 ● [唐津くんち曳山囃子の練習場所ナビゲート](#)

《初くんち》

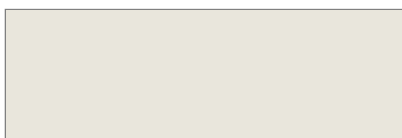
【日時】 平成25年10月9日(水) 19:00～21:00

【場所】 唐津神社本殿

【お問合せ】 唐津神社 TEL:0955-72-2264



■ 唐津くんち成功と安全を願う「本殿祭」





10月29日に「本殿祭」が行われる唐津神社



11月3日の「お旅所神幸」で、曳山がお供して市内を巡る「一ノ宮」「二ノ宮」の2台の神輿

「唐津くんち」に先立って本殿祭が10月29日、唐津神社で行われます。

本殿祭は、本来行われていた「秋の例大祭」(唐津くんち)で11月3日の「お旅所神幸」で、曳山がお供して市内を巡る「一ノ宮」「二ノ宮」の2台の神輿が飾り付けされ、唐津曳山(ひきやま)取締会など関係者とともにおはらいを受け、祭りの成功と安全を祈ります。

祭礼日は、御鎮座の旧暦9月29日が本来の姿で旧暦から、新暦に置きかえると、祭日は毎年変り、早い時は残暑を感じる頃であったり、遅い時は霰が降ったこともあったそうです。

9月29日という日は、民俗学的に見ても、重陽につながる祭礼には最良の日でした。

明治維新で新政府も旧暦から新暦への移行を積極的に進めました。

しかし農業や漁業のことなどすべての生活習慣は、旧暦主体でしたので、新暦移行は遅れ気味でした。そのような中で、唐津神祭は、明治～大正と旧暦で執行されていましたが、いよいよ氏子の新暦への慣れ、利便性等もあり、大正2年(1913年)のくんちより、新暦10月29日を祭日と定めて執行することとなりました。

この10月29日の祭日はその後55年続きましたが、昭和30年代に入り、生活が少し豊かになり神祭の見物客も多くなり始め、この頃から戦後の曳山塗り替えが県の重要文化財の指定もあって、各町曳山の塗り替えが毎年のように行われ、曳山全体が大変綺麗になり、曳子の数も多くなり、10月29日の祭礼日を移動しようという声が、市内のいろいろな方々や団体等から起こってきました。

昭和40年代に入ると、本格的に大きな運動になりました。

神社としては、正式に申し入れがあった時点よりも前から、関係者と協議をしてはいましたが、基本的には、神社の例祭日は気安く変更すべきものではないということで、特に慎重に事態の推移を見ていたそうです。

昭和43年、例大祭日変更の声は具体的行動となり、神社・取締会を始め関係者は何回となく会議をし「変更しても、人々のくんちによせる思いは変わらない。」「観客動員も期待できる。」「曳山、観客の安全にも支障はない。」等の良い影響の方が多きことから例祭日の変更について、旧暦9月29日に近い祝祭日である文化の日(旧・明治節)の11月3日としました。

この年の唐津くんちは、変更後初めてということで、関係一同御神意にかなうか否やと、大変な緊張をして迎えましたところ、すこぶる好天の中、観客も倍増といえるくらいの人、無事めでたく納めることができました。

こうして、11月3日の新しい祭礼日が定まり、参拝者も年々増加し、種々報道も多くなりました。

初心を大切に、現在も10月29日は本殿祭として祭り続けられ



昭和43年、例大祭日が変わった年のポスター

ています。

【日時】平成25年10月29日(火)

【場所】唐津神社



■ 唐津くんちの曳山14台の豪華さや迫力が表現されている
「平成26年版唐津曳山カレンダー」



毎年発売され唐津くんちファンにも人気の商品「唐津曳山カレンダー」の販売がはじまっています。

このカレンダーは他にはあまり見かけない14枚綴りのもので、14台の曳山が1月の1番曳山から製作年順に毎月1台ずつ紹介されています。(13番曳山は再来年の1月、14番曳山は本年の12月で紹介)

平成26年版の「唐津曳山カレンダー」は、表紙と裏表紙に曳山を真横から写したアングルで14台が並べ重ねられており、14台の豪華さや迫力が表現されています。

暦頁の背景には各町の肉襦袢の絵柄がうすく入っており、唐津くんちの文化の一部も紹介されています。

お土産としても人気の商品「唐津曳山カレンダー」は通信販売も行われており、毎年お買い求めになられる県内外の方も多数いらっしゃるということです。

また、8番曳山、本町「金獅子」の金色の輝きと勇壮に激しく動く様を表現したデザインの「平成25年度版唐津くんちポスター(500円)」も好評発売中です。



「平成26年版唐津曳山カレンダー」

【価格】 1,000円(税込)

【販売箇所】唐津駅観光案内所 唐津市ふるさと会館アルビノ
曳山展示場 西ノ門館 唐津城 市役所売店 他



見所・イベント予告

■ “風の画家”中島潔氏の絵画で飾った 「中島潔ふるさと列車(ラッピングトレイン)」運行



唐津出身で“風の画家”とも呼ばれる中島潔氏の絵画で飾った「中島潔ふるさと列車(ラッピングトレイン)」が運行されます。期間は10月1日(火)から11月4日(月)で、JR九州の西唐津駅から佐賀駅間と西唐津駅から伊万里駅間を運行し、中島潔氏の出身地である「厳木(きゅうらぎ)」や「相知(おうち)」の秋風を感じながら、のんびりとした列車の旅がお楽しみいただけます。

運行期間中には、旧唐津銀行での「中島潔絵画展」をはじめ、唐津市街地を美術館に見立てた催しが行われます。

この「ふるさと列車」は、唐津市が「ふるさと回帰」をコンセプトに、東京駅などを設計した辰野金吾と中島潔氏の二人にスポットをあてた事業を展開し、観光客の集客促進を図るための取り組みの第1弾となります。

【運行期間】 平成25年10月1日(火)から
11月4日(月)

【運行区間】 JR九州
西唐津駅から佐賀駅間
西唐津駅から伊万里駅間

【お問合せ】 唐津駅観光案内所
TEL:0955-72-4963
唐津鉄道事業部
TEL:0955-75-0382



[詳細…\(PDF\)](#)



■ あれれ？宙に浮いた城？ ～ 唐津城は、ただ今、石垣修復中です！～



天守台石垣の完成は平成26年度末の予定。
今だから見ることができる風景です。

写真提供: 唐津市都市整備部まちづくり課

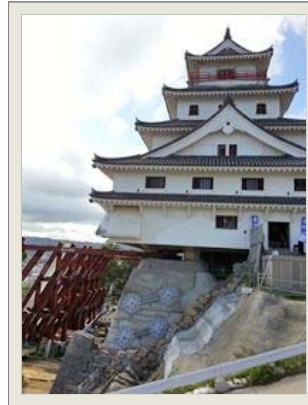
唐津市のシンボリックな施設であり、歴史・観光資源である唐津城の石垣が、長い年月を経て「はらみ・ゆるみ」を生じ、石材自体にもひび割れや劣化が見られるようになってきました。そこで、唐津市では、築城400年を迎えた平成20年度(2008年)より「唐津城石垣再築整備事業」に着手しました。

今後、唐津城をさらに100年、200年と将来に継承していくために、土木分野、文化財の見識者に意見を求めながら、歴史ある石垣の保全と来訪者の安全確保のため石垣を再築しています。

文化財的価値を損なわない内容・方法により、事業そのものを観光資源とし観光面との調和を図ることを基本にしています。

現在、石垣を取り外し中でありながら、天守閣に登ることもできます。

また、今だからこそ、石垣が取り外された外観を見ることができます。



唐津城の築城は、1608年(慶長13年)。

豊臣秀吉の家臣である寺沢志摩守広高が、初代藩主として築城した城です。

別名「舞鶴城」。そう呼ばれる所以は、天守閣に立つと納得できます。左右に広がる虹の松原、西の浜の松原。鶴が翼を広げ、玄海灘に向かって羽ばたくようです。

《事業スケジュール》

- 平成20年度： 本丸東側石垣(15面)を解体し、工事用仮設搬入路を設置
- 平成21～26年度のⅠ期事業： 本丸西側石垣(1～3面)、天守台石垣(6～8面)、本丸南側石垣の一部(9面西側)を再築
- 平成27～31年度のⅡ期事業： 本丸南側石垣の残り(9面東側、10面)、本丸東側石垣(12面～16面)を再築予定

全国の皆さんから支援金を募っています。唐津城石垣再築への応援、ご協力をよろしくお願いいたします。

- ・よみがえる唐津城HP <http://www11.ocn.ne.jp/~karatsuj/index.html>
- ・唐津城HP(唐津市文化事業団) <http://www.karatsu-bunka.or.jp/shiro.html>

【お問合せ】 唐津市都市整備部まちづくり課 TEL :0955-72-9135
e-mailアドレス: machidukuri@city.karatsu.lg.jp



■ 秋空の下「玉島川鮎まつり」盛大に開催



炭火バーベキューにて新鮮な鮎や、やまめを堪能できます



ラムネ早飲み競争(子供限定)などステージイベントも盛りだくさん

唐津市七山から浜玉町を流れる玉島川の河川敷にて「玉島川鮎まつり」が開催されます。新鮮な鮎や、やまめを炭火バーベキューで堪能できます。バーベキューだけでなく、鮎のつかみどりや、ラムネ早飲み競争(子供限定)、けいらん早食い競争(大人限定)などのイベント盛りだくさん。またステージではフラダンスショーで花を添え、ゴスペルなどのライブで盛り上がることも間違えなし。最後には秋の夜空にあがる花火で最高のクライマックスをむかえます。子供から大人まで幅広く楽しめる「玉島川鮎まつり」是非、参加してみたいかがでしようか。

- 【開催日】 平成25年10月13日(日)
11:00～19:00
(食材の引換えは16:30まで)
- 【開催場所】 唐津市浜玉町玉島神社前河川敷
- 【食材券】 前売券 1,000円(当日券1,300円)
鮎1匹、やまめ1匹
飲料(ビール1缶又はジュース2本)





■ 中島山笠 平成25年度 第16回テーマ「八重の桜」を曳きます



唐津市厳木町中島の秋の風物詩「中島山笠」。今年の山笠のテーマは、「八重の桜」で、昨年の「平清盛」に続きNHKの大河ドラマから選ばれています。高さ6メートル、重さ3.5トンの山笠は、住民が約2カ月かけて仕上げます。

「中島山笠」当日は、地元の集会所で安全祈願をした後、子どもからお年寄りまでそろいの赤い法被を着た約150人が「エイサー、エイサー」の勇ましい掛け声を上げ、笛や太鼓のリズムに合わせて山笠を引き回します。

「中島山笠」は昭和初期から昭和28年まで疫病を鎮めるため若宮神社に奉納されていた“祇園山笠祭り”で、平成10年に地区の有志が復活させました。 昨年は復活15周年を記念して山笠の台を作り替え、今年は山笠の重心を前方に移動させる事と車輪の強化を目的とした作業が行われ、金具の付替えなどに時間が費されました。

人形や屋形などの地元住民が手作りした山笠が地区内を練り歩き、山あいの集落に軽快なまつり囃子と威勢のいい掛け声が響き渡ります。「中島祭り」も同時開催し、歌謡ショー・フラダンス・和太鼓演奏・抽選会などが催されます。人気の中島山笠オリジナルTシャツ(1,000円)の販売は今年も行われますので、Tシャツを着て地元の方と一緒に「中島山笠」を曳かれてみてはいかがでしょうか。

【山笠運行予定】 平成25年10月12日(土)

昼の部13:00～14:40、宵山の部15:00～21:00

10月13日(日)

朝の部10:00～12:30、昼の部 15:00～19:00

10月11日(金) 山笠のお披露目となる前夜祭が19:00～20:30まで
中島公民館横展示館で行われます。

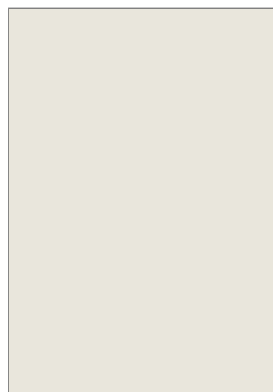
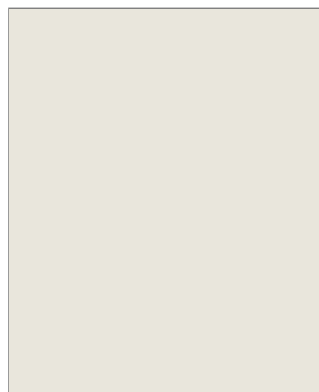
【場所】 唐津市厳木町中島

【お問合せ】 唐津市厳木支所産業課 TEL:0955-53-7112

中島山笠実行委員会 TEL:090-4774-9415 (吉原氏)



■ 全国的にも稀有な羽熊行列とライトアップが幻想的な山笠「相知くんち」





熊野神社秋季例大祭「相知くんち」
街を華やかに彩る山笠



霏がかかった夜にライトアップ
された山笠はとても幻想的である。

熊野神社秋季例大祭、相知くんちが今年も10月18日の宵山をかわきりに執り行なわれます。

迫力満点の伝統ある**羽熊行列**、街を華やかに彩る山笠等で、町が活気に溢れます。

山笠巡行の曳山は、高さ7mの飾り山で、飾り部分は相知町郷土芸能保存会「山笠の部」を中心に仕事の合間をぬいながら約1年かけて作り上げられます。

平成25年度は加美組山笠表が「長篠の戦い」、裏が「牛若丸と弁慶」。志茂組山笠表が「秀吉の野望」、裏が「石川五右衛門の最期」となっています。

【期日】 平成25年10月18日(金)～20日(日)
18日(金)19:00～21:00 宵山(山笠巡行)
19日(土) 9:40 神事
10:40～13:30 **羽熊行列**・稚児行列・
御神輿行列・山笠巡行・
中山浮立・大野大黒舞
16:30～19:00 山笠巡行
20日(日)11:00～13:50 子供羽熊行列・山笠巡行
18:00～20:30 山笠巡行

【お問合せ】 一般社団法人唐津観光協会相知支所
TEL:0955-51-8312



[詳細・・・\(PDF\)](#)



■唐津市無形民俗文化財 ^{はぐま}羽熊(ふるさとの文化財巡り(12))



「羽熊」は、相知町の熊野神社の秋の大祭である「相知くんち」の際に、御神輿行列の先頭として挟み箱を担ぎ、毛槍を投げ渡ししながら相知的宿通りを練り歩く行列のことです。

本来「羽熊」は、江戸末期の安政年間(1854～1859)ころより「唐津くんち」の中で行われる

ようになった、神輿に供奉(ぐぶ)する大名行列を模した行列の一部で(出典『唐津神事おもいで』、明治期に富野湛園により描かれた『唐津神祭行列図』(市指定重要有形民俗文化財)の中にも描かれています。

では、どうして「唐津くんち」の大名行列の一部が、相知町に残っているのでしょうか？

伝承によると、明治6年(1873)に当時相知村の村社であった熊野神社に、唐津神社から大名行列の諸道具の一部が譲られたことにより、以後、相知で大名行列が行われるようになったといわれています。また、一説には、当初は相知村の石炭採掘会社に道具が譲られましたが、その後、その会社から熊野神社に寄贈されたともいわれています。

行列は、わらじ履きの奴姿の者達が、毛槍や挟み箱を持ち、「イーハーエー、ヤットコマカーセー、ヨーヨイヤーハーノーハー、ヤッホイ」という独特の掛け声に合わせてゆっくりと熊野神社下の宿通りを練り歩きます。

そして最大の特徴は、長さ約3.5m、重さ約20kgの毛槍計4本を掛け声と共に回しながら投げ渡すなど、「唐津くんち」の大名行列の一部を今に伝える貴重な無形民俗文化財です。今年も10月19日(土)の午前中に、勇壮な掛け声と共に「羽熊」行列が、往時を偲^{しの}びながら相知の宿通りを行進します。

【お問合せ】唐津市文化課

TEL:0955-72-9171



■ 玄界灘の新鮮な海の幸を堪能「唐津お魚まつり」



玄界灘の新鮮な海の幸を堪能「唐津お魚まつり」

毎年恒例となった「唐津お魚まつり」が今年も開催されます。会場には玄界灘の新鮮な魚介類や水産加工品が勢揃いし、魚介類や地元特産物の直売が9:00より開始されます。良いものからあつという間に売り切れるため、早めの購入がおすすめです。氷が用意されているので、お持ち帰りも安心です。

直売以外にも「アジすしみ鍋ふるまい」や「魚の袋詰め放題」「マグロの解体ショー」など、たくさんさんのイベントが催されます。会場内には「バーベキューコーナー」が設けられていますので、会場で購入した食材がその場で楽しめます。

この機会に「唐津お魚まつり」に足をお運びになり、玄界灘の新鮮な海の幸をご堪能になられてみてはいかがでしょうか。

【日時】平成25年10月27日(日) 9:00～14:00

【場所】唐津港沿岸物市場周辺(唐津市海岸通)

【お問合せ】唐津市水産課 TEL:0955-72-9130



詳細…(PDF)



■ 相知町の“実りの秋”を楽しむ「ちょっと遊びに来んね。米んね祭」

今年も相知町の自然を存分に堪能できる季節がやってきました。

地元の方々によるステージ発表や農産物直売、各種展示、チャリティーしし汁大鍋、相知で育てた新米の即売キャンペーン、花苗プレゼント(先着100名様)等、楽しいイベントが盛りだくさんです。

14:30からは相知の農産物、特産品が当たる「大抽選会」が行われます。当日会場内の出店でお買い物された方にもれなく引換券が進呈されますので、そちらの引換券を抽選券に替えてのご参加となります。

おいしい野菜や棚田米、お菓子やお食事券など、嬉しい景品が用意されています。

- 【日時】 平成25年10月27日(日)10:00～15:30
【場所】 唐津市相知町中山
相知交流文化センター駐車場
【お問合せ】 相知町民まつり実行委員会事務局
(唐津市相知支所産業課内)
TEL:0955-53-7125



[詳細・・・\(PDF\)](#)



■ 美術館に行こう！ーディック・ブルーナに学ぶモダン・アートの楽しみ方ー



「ミッフィー(うさこちゃん)」の生みの親であるディック・ブルーナ(1927-)は、オランダの絵本作家であり、グラフィックデザイナーです。シンプルであたたかみのある線と「ブルーナカラー」と呼ばれる6つの色で描かれた彼の絵本は、世界中の人々に愛されています。本展覧会では、「見てみよう」「考えてみよう」「作ってみよう」という3つのテーマにより、唐津市所蔵の美術作品(絵画・彫刻・唐津焼)15点やブルーナの世界をご紹介します。会期中には、作品解説や人形アニメの上映会も行います。くわしくは、近代図書館におたずねください。

- 【会期】 平成25年10月12日(土)～11月24日(日)
【会場】 唐津市近代図書館 美術ホール
【開館時間】 10:00～18:00(入場は17:30まで)
【休館日】 月曜日、11月3日(日・祝)
【入場料】 ・一般 500円
・唐津市内の75歳以上の人 250円
(市のシルバーカードや健康保険証など提示)
※有料入場者20人以上の団体は2割引
・高校生以下の人無料
・障害者手帳をお持ちの人と同行者1人は無料(障害者手帳を提示)
【主催】 唐津市近代図書館
【お問合せ】 唐津市近代図書館 TEL:0955-72-3467



■ ATAだより

～秋の唐津んツアー～

天神からちょっと足をのばして「唐津」ん秋をたのしんでみませんか。

唐津よかばい旅倶楽部では、秋のツアーを実施します。
コースは全部で11種類あります。
唐津でいろんな体験をしてみませんか。

- ① (肥前)名護屋城薪能日帰りツアー
- ② (肥前)名護屋城薪能鑑賞ツアー1泊2日

- ③ 唐津焼探訪ツアー
- ④ (肥前)名護屋城めぐり
- ⑤ 唐津紅葉めぐり
- ⑥ 秋の味覚体験ツアー
- ⑦ 星空観察ツアー
- ⑧ お腹いっぱい！スイーツツアー
- ⑨ 絵手紙ワークショップ&唐津DEランチ
- ⑩ 宝当神社と宝満神社幸運祈願バスツアー
- ⑪ 国の文化財指定！夜神楽鑑賞ツアー



[詳細とお申込書・・・\(PDF\)](#)

※天候により食事メニュー・体験メニューが変わることがあります。

【お問合せ】 一般社団法人唐津観光協会 ATA事業部
(唐津よかばい旅倶楽部)
TEL:0955-74-3611
FAX:0955-74-3612
URL: <http://www.yokabai-tabiclub.jp>



■唐ワンくん日誌(49)

～ 夏から秋へ涼しい季節は大歓迎の唐ワンくん ～

よい子のみなさん、こんにちワン！

秋を楽しんでいますか。「秋と言えバ？」と、色々な所でたずねられます。唐ワンくんの秋は「出張の秋」です。

9月になってからは毎週のように精力的に県外出張にお出かけしました。宮城県石巻市へ、中国上海へ、北九州市へ、そして大阪市へと出張がありました。ひと月に4回も遠方に出張するとみやげ話がいっぱいになりますね。更に今後も10月11月には、またまた出張が続きます。いつも元気いっぱいみなさんを楽しませる唐ワンくんは、秋の味覚をいっぱい食べて元気に過ごしますよ。



いかを食べた呼びいかまつり



中国の上海で佐賀県PR



大阪駅でも佐賀県PRに

今後のスケジュールやイベント情報は「唐ワンくんのブログ」で絶賛公開中

→ <http://ameblo.jp/karawankun/>

●10月の唐ワンくんおすすめ情報

～ ご当地キャラの聖地は彦根 ～

唐ワンくんもほぼ参加している10月の彦根のキャラクターイベントが、名称を新しくして開催されます。その名も「ご当地キャラ博in彦根」です。

日本を「ご当地キャラで活性化」をテーマに始まったご当地キャラの聖地「彦根市」での本イベントは、近年全国各地で盛んにおこなわれるようになった ご当地キャライベントの先駆けとなるイベントです。

今年で6回目を迎え、本イベントの開催趣意を今一度原点に戻し、全国で開催される同様のイベントとは一線を画した、聖地ひこねならではの 規定を新たに設け、名実ともにグレードアップし、ご当地キャラの ご当地キャラによる ご当地キャラのための博覧会が開催されます。唐ワンくんとっても楽しみです。

【イベント名】「ご当地キャラ博in彦根2013」

【場所】滋賀県彦根市街地一帯

【日程】平成25年10月19日(土) 9:00～15:00

10月20日(日) 9:00～15:00

【詳しくは】ご当地キャラ博in彦根2013

<http://yuru-chara.jp/hikone2013/>



彦根での唐ワンくんはひこにゃんの親友として定着しつつあります



唐津よもやま話

■唐津検定情報

●祭りの源流を体感するバスハイク開催



羽熊行列に使われる毛槍に興味深く観察する参加者



月と太陽を表した巨大なテンジクを頭部につけ太鼓を打つ天川天衝舞浮立



袴姿で厳肅な武家風の広瀬浮立

去る9月23日「唐津をもっと知る！ 観る！ 食べる！ バスハイク」と題した唐津検定予備校が実施されました。

当日はまず、相知町・熊野神社で秋祭り相知くんちについて石橋明彦宮司にお話を伺いました。

47名の参加者は、熱心にメモをとったり羽熊行列に使われる毛槍を持ち上げたりして興味深く観察していました。次にきゅうらぎ厳木町で守り継がれている4地区の浮立のうち2つを見学しました。最初の浮立は、月と太陽を表した巨大なテンジクを頭部につけ太鼓を打つ天川天衝舞浮立あまかわてんつくまいふりゅう。昼食を挟んで最後に訪れた袴姿で厳肅な武家風の広瀬浮立で、保存会会長水落富雄氏にお話を伺いました。参加者は、初秋の山里に響く厳かな浮立の音色と舞いに見入っていました。

●唐津検定、いよいよ10月27日(日)実施！！

唐津がたどってきた道、美しさ・素晴らしさを、もう一度見つめなおし、次世代を担う子どもたちに“地域の宝”を伝承するため、昨年、一昨年に実施された唐津検定。

のべ約900人の“知識自慢”が唐津の難問・珍問、全100問に挑みました。今年は、100問中約40問が“唐津の祭り”に特化して出題されます。

[唐津検定の実施要項]

<http://www.karatsu.or.jp/karatsukentei/jisshiyoko/>



発行: 一般社団法人唐津観光協会
〒847-0816 唐津市新興町2935-1 JR唐津駅内
電話番号: 0955-74-3355 FAX番号: 0955-74-3365
URL: <http://www.karatsu-kankou.jp/>

ページの上部へ↑

一般社団法人 唐津観光協会

KARATSU TOURIST ASSOCIATION
Copyright © 2006 Karatsu Tourist Association. All Rights Reserved.

